



主 題

- クラブ (主 題) “Pass it on to the next generation”
「次代に引き継ぐ」 生地 義治会長
- 国 際 (主 題) “Once More We Stand”
「心新たに立ち上がろう」 藤井 寛敏 (東京江東クラブ)
- ア ジ ア (主 題) “Once More We Stand”
「心新たに立ち上がろう」 高田 一彦 (横浜クラブ)
- 西日本区 (主 題) “Forward with Y's men's spirit in our hearts”
「飛翔たとう ワイズスピリットを胸に」 仁科 保雄 (京都キャピタル)
- 中 西 部 (主 題) “Enrich your Y's life with a broader perspective!!”
「豊かに、そして拡がりのあるワイズライフを!!」 松浦孝次 (大阪センテニアル)

聖 句

この幼な子のように自分を低くする者が、天国でいちばん偉いのである。

マタイによる福音書 第18章4節

想 定

工藤 義正

戦後間もない昭和21年12月、巨大な南海地震が起き、四国の太平洋岸が大津波に襲われたことは当時兄をお腹に抱え徳島に疎開していた母の話として何度か聞いていた。数年前、インドネシアのスマトラ島沖地震で大津波があったこともまだ記憶に新しく、昨年、吉村昭の「三陸海岸大津波」と題するノンフィクションを読み、あらためて他人事ではないと思っていた矢先の東日本大震災であった。阪神大震災で高速道路が倒れた時も使われていた「〇〇〇年に一度」「想定外」という言葉が今回も空疎に響く。震災報道でインタビューに答える被災した人々と小泉八雲の「日本の面影」の中に出てくる、嵐で家族を失い悲しみに堪えながらも穏やかな微笑みさえ浮かべる女性とがオーバーラップし、健気にも悲しみをこらえている様子にはただただ愛おしさと慈しみを感じるばかりである。

“天災は忘れた頃にやってくる”という警句があるが、地震、津波、台風、噴火、水害とあらゆる天災と向き合い続けてきた日本人の忘れなければ前に進めない性が災害の記憶を歴史のすきまに埋没させるのか。20年程前、「島原大変」(白石一郎著)という寛政年間に起きた大噴火と大津波の史実に基づく歴史小説を読んだ直後にまさに同じ雲仙普賢岳が200年ぶりに噴火し、大災害が起き、仰天したことを思い出した。「想定」とは歴史と言ひ伝えに真摯に向き合うこと。津波はそつとやってくる。おばあちゃんの知恵袋は侮ってはいけない。恐るべしである。

6月 例会プログラム

中西部部長公式訪問

日時：2011年6月21日(火) 18:30~20:20

会場：土佐堀YMCA902号室

司会：岩田晋メン

担当：広報事業委員会(道関、福永、岩田)

- | | |
|------------------------|--------------------------|
| 1. 開会宣言・点鐘 | 生地 義治 会長 |
| 2. ワイズソング | 一 同 |
| 3. ゲスト紹介 | 司 会 者 |
| 4. 中西部部長ごあいさつ | 清水誠治郎中西部部長 |
| 5. 聖句朗読・メッセージ | 岡野泰和メン |
| 6. 食前感謝 | 岡野泰和メン |
| 7. 晚餐と歓談 | 一 同 |
| 8. ゲストスピーチ
環境問題について | NPO 法人木野環境理事
丸谷 一 耕 氏 |
| 9. YMCA ニュース | 小路清一連絡主事 |
| 10. インフォメーション | 岩田 晋 書 記 |
| 11. 誕生日・結婚記念日 | 生地 義治 会長 |
| 12. ニコニコ | 司 会 者 |
| 13. YMCA の歌 | 一 同 |
| 14. 閉会宣言・点鐘 | 生地 義治 会長 |

6月の強調テーマ 〈評価・計画〉

すべての事業について評価される結果を残し、更なる発展を次期にゆだねる。一年間の事業活動内容を提出し、その評価を得る。
仁科 保雄理事 (京都キャピタルクラブ)

例会報告

福永 勝

2011年5月21日(土)14:00より、大阪YMCA会館2階大ホールにて、280名の参加者を得て、**東日本大震災復興支援トーク&ライブコンサート**として5月例会が執り行われました。本来予定しておりましたクラブの創立「60周年記念例会」を、未曾有の大震災に直面して、クラブメンバー各位の熱心な討議を経て、首記の標題にて開催することになった次第です。

第一部 トーク

ミズノテクニクス(株)プロバットマイスター久保田五十一氏のバット作りの道一筋に打ち込む思い、物づくりの大切さ、技術の伝承、後輩への接し方など、岩田メンの聞き手も見事で、参加者に感動を伝えられたと考えます。



プロバットマイスターの久保田氏(右)と岩田メン(左)

第二部 メモリアル・ヒーリング・ライブ

「和楽器・ピアノ・おどり 夢のコラボレーション」と題して佐野多由子さん(ピアノ)、山口整萌さん(尺八・篠笛)、珠希星佳さん(おどり)が息の合った舞台を披露され、佐野さんの説明と相まって心に響くライブでした。



和楽器・ピアノ・おどりの見事なコラボレーション!

この2年間、この例会の為に費やされたメンバー各位の懸命の努力が結集した、見事な例会であったと評価したいと思います。終了後、中華料理「徐園」にて出演者一同とクラブメンバーにより打ち上げ会が開催され、42名の参加で大いに盛り上がりました。

5月

役員会報告

岩田 晋

日時：2011年5月24日(火)18:30~20:30

場所：奥田事務所

出席者：生地会長、岩原、奥田、工藤、小森、福永、牧口水口、岩田

I. 報告事項

1. 5月例会 [5月21日(土) 東日本大震災復興支援トーク&ライブコンサート]

於 大阪YMCAホール 出席者：メンバー18名、メネット6名、メーキャップ1名(岡野) 出席率：19/20=95.0%
トークショーとメモリアル・ヒーリング・ライブはともに好評であった。

2. 東日本大震災復興支援金として以下の金額を計上。
トーク&ライブコンサート収益金、チケット売上、当日募金箱、クラブ拠出金等 計 705,176円

II. 協議事項

1. 大阪YMCAを通じて日本YMCA同盟に東日本大震災復興支援金を献金する。金額 705,176円

トーク&ライブコンサートへの協力に対しお礼状を会長名で送る。送付先：ミズノテクニクス(株)、オフィス・クオーレ、YMCA総主事、各クラブ会長

2. 西日本区大会参加者確認(参加費納入状況)

生地、岩田、岡野、奥田、北村、北村メ、工藤、小森、只野、永井、灰谷

3. アジア大会参加者

現時点では灰谷メンのみ。奥田メン、工藤メン参加検討。

4. 6月例会 6月21日(火)18時30分 YMCA902号室
担当：広報事業委員会(道関、福永、岩田)

司会：岩田メン

ゲストスピーカー：NPO法人木野環境理事丸谷一耕氏
「環境問題について」

5. 環境事業アンケート。

奥田メン担当

6. 西日本区代議員会 議案書及び活動報告書

出席者に回覧

7. スペシャルオリンピクスより映画鑑賞券の購入依頼

5月28日よりロードショーのため、クラブでの前売鑑賞券購入はしないが各自で協力する。

8. 工藤メンより、クラブへ入会30周年、クラブの60周年を記念して20万円寄付をしたい旨、申し出あり。クラブとしては喜んで受ける。但し、明確に記録を残すこととする。

9. 農園の玉葱収穫

6月5日(日)10時より大住農園にて

参加予定：奥田、小森、岩原、生地、坂本、清水(小森メン知人)、岩田

IBC & International

<IBCレター>

シンガポール・ベータクラブよりメッセージが届きました。

Dear Club President and Members of Osaka Tosabori Y's Men's Club,

On this joyous occasion of 60th Anniversary celebration of your Charter, we congratulate you on reaching this milestone.

As brothers of Osaka Tosabori Club, we share your happiness as you celebrate this milestone. It is an achievement that you and your members should be proud of. It is not easy to maintain and keep a club going for 60 continuous years.

Many leaders had come from your club and it augurs well for Osaka Tosabori. It is a hallmark of strong membership.

We wish you joy as you celebrate your anniversary night and wish you many more active years in Y'sdom.

Once again our heartiest congratulations!

Anna Loo
on behalf of the Board and members of Beta Chapter

[訳]

土佐堀クラブ会長とメンバーのみなさんへ

土佐堀クラブチャーター60周年という記念すべき日に、喜ばしい節目を迎えられたみなさんにお祝いを申し上げます。

土佐堀クラブの兄弟クラブとして我々もこの節目を迎えられたお祝いの幸せを、みなさんと一緒に分かち合いたいと思います。この偉業はみなさんが大いに誇りにされるべきものだと思います。60年もの長きに亘り一つのクラブを運営し維持していくことは容易いことではありません。

かつて多くのリーダーが土佐堀クラブから輩出され、貴クラブの前途は洋洋です。そのことは土佐堀クラブの強いメンバーシップを証明するものです。

このよき日をお祝いされるみなさんのうえに喜びが満ちますよう、そしてワイズでのみなさんの益々の発展を祈念します

衷心よりお祝い申し上げます。

シンガポール・ベータクラブ
役員・メンバーを代表して
アンナ・ルー

<アンニョン KOREA>

岩田 晋

韓国人共同墓地に眠る日本人

—朝鮮を愛した浅川巧(その2)—

浅川巧は朝鮮緑化のため、各地で講演を行ないましたが、疲労が重なり、帰宅後、風邪で病床につきます。そして、数日後に開催される例年行事「植木祭」目前の1931年4月2日、急性肺炎のため、京城(今のソウル)の清涼里の自宅でその生涯を終えました。40歳という若さでした。巧の死が伝えられると、彼を知る朝鮮の人達が群れをなして彼に別れを告げに集まり、朝鮮服に身を包まれて眠る巧の姿に慟哭したと言います。葬礼当日、多くの朝鮮人が浅川の棺を担がせてほしいと申し出ます。里長(村長)はそのうちから10人だけを選びます。棺は浅川を慕う朝鮮人に担がれて墓地へと向かいました。巧は敬虔なクリスチャンでしたが、「自分は死んでも朝鮮にいるだろう。朝鮮式に埋めてくれ」という遺言通り、近くの朝鮮人共同墓地に埋められました。浅川巧が強く影響を与えた、民芸運動のリーダー柳宗悦は「日鮮(ママ)の反目が暗く流れている朝鮮の現状では見られない場面であった」と回想しています。また、浅川巧の葬礼では、伝道師となった曾田嘉伊智が聖書を朗読します。曾田嘉伊智は伝道師ですが、それよりは「朝鮮孤児の父」として有名です(ブリテン2008年2月号、韓国通信「外人墓地に眠る日本人」参照)。のちに浅川巧と同じように朝鮮となった曾田が朗読したのは詩篇第23篇「ダビデの歌」です。浅川巧と曾田嘉伊智がこういった形で結び付いているのは不思議と言えば不思議です。1942年、道路拡張工事により、墓地は現在の忘憂里に移転されました。

林業試験場に勤務した浅川巧は、禿山の特性を調査研究する一方、造林の方法を説き、「結局、山林を自然法に帰せ。それより道はない」というものですが、これは「神のものは神に帰せ」という聖書の言葉に相通じるものがあるような気がします。忘憂里の墓地からは遙か南にゆったりと流れる漢江を見ることが出来ます。私達は今一度、浅川巧の生き方に目を向けるべきではないでしょうか。



(注) 韓国は当時、日本の統治下にあり、「朝鮮」と呼ばれていましたので、当稿ではその国号を使用しました。
【写真】 兄・伯教が弟・巧の十周年忌に自らデザインした白磁型のモニュメント墓標

東日本大震災復興支援

トーク&ライブコンサートご協力へのお礼

実行委員長 工藤 義正

大震災復興支援イベントにご協力ありがとうございました。5月21日(土)YMCA会館での「東日本大震災復興支援トーク&ライブコンサート」開催に際しては中西部、阪和部始め多くのワイズメンズクラブの皆様、大阪YMCA、地元地域の皆様、また、ミズノテクニクス(株)、オフィスクオーレなど出演者・音響関係等多数の方々のご支援、ご協力を戴き、お陰様で合計70万5176円を東日本大震災復興支援金として大阪YMCAから日本YMCA同盟を通じて被災地域でのお役に立てていただけることとなりました。ご協力に心から感謝申し上げます。ご報告といたします。



生地会長(右)より末岡総主事(左)へ支援金を寄贈する

また主催者である土佐堀クラブのメンバー・OBの皆様には当初予定の祝会から開催趣旨が急遽変更になったにも関わらず、短期間での広報・チケット販売そして当日の運営と力強くお支え戴きありがとうございました。



打ち上げ会にて 出演者のみなさんを囲んで

YMCAニュース

■第218回大阪YMCA早天祈祷会

日時：6月17日(金)7:30~8:30

会場：大阪YMCA会館10Fチャペル

証し：津田 晃男さん(北YMCAスタッフ)

■六甲山YMCAマントルピースを囲む会

六甲山YMCAにステキな暖炉があるのをご存知ですか？

その暖炉(マントルピースといいます)を囲んで、各方面でご活躍のゲストをお迎えしてお話を聞いたり、語り合ったりする時間…その名も「マントルピースを囲む会」!

日時：6月10日(金)19:00~21:00

会場：六甲山YMCA 里見ホール※阪急六甲駅から送迎バス有(要予約)

内容：「届けよう東北へ!ゴスペル&トーク」

東神戸教会牧師 川上盾氏

参加費：3,500円(宿泊される場合は6,500円)

▽ 6月の予定

11日(土)~12日(日)第14回西日本区大会

ウェスティン都ホテル京都

21日(火)クラブ例会(18:30~) 土佐堀YMCA902号室

25日(土)中西部評議会(14:00~) 土佐堀YMCA

28日(火)第二例会・役員会(18:30~) 奥田事務所

28日(火)ブリテン委員会(19:30~) 奥田事務所

▽ 7月の予定

19日(火)クラブ例会(18:30~) 土佐堀YMCA902号室

23日(土)中西部評議会(14:00~) 土佐堀YMCA

26日(火)第二例会・役員会(18:30~) 奥田事務所

26日(火)ブリテン委員会(19:30~) 奥田事務所

▽ 6月の誕生日おめでとう

4日 工藤 義正 5日 小森 三省

21日 水口 美里

▽ 6月の結婚記念日おめでとう

[該当なし]

<今月の題字写真> 紫陽花 新緑から初夏へと移るこの季節、例年より一足早い梅雨入りに紫陽花も一際映える。被災地にも心とませる花は咲いているだろうか。(Y)

5月例会出席者数		5月例会出席率		B	F	ニコニコ		TOSファンド	
メンバー	18名	会員例会出席者	18名	切手	0pt	5月分	0円	5月分	0円
メネット	6名	メーキャップ	1名	現金	30,000pt			今期累計	0円
コメット	0名	合計	19名					残高合計	1,038,144円
ビジター	0名	現会員数	21名					60周年ファンド	
ゲスト	1名	出席率対象数	20名					5月分	0円
出席者合計	25名	出席率	95.0%	今期累計	30,000pt	今期累計	72,977円	合計	297,434円